

令和5年度「福島を生きる講座」 実施報告

当館では県民が福島について知識を深め新たな活動につなげることができる講座「福島を生きる講座」を開催しています。今年度開催した第1回から第4回までの当講座の内容について紹介します。

第1回「吾妻山噴火から130年—火山の怖さ・火山の魅力—

講師：佐藤 公 氏（磐梯山噴火記念館 館長）

開催日：令和5年6月24日（土）14:00～15:30 参加人数：71名

大規模な噴火から令和5年で130年を迎えた吾妻山の歴史や自然、噴火への備えなど火山防災についてお話いただきました。国内の巨大噴火や県内の磐梯山や安達太良山の噴火の歴史を踏まえた上で、1893年、1950年、1977年に起きた吾妻山の噴火や最近の噴火活動、実際に吾妻山が噴火したら福島市周辺に住んでいる人はどのように避難すべきかなど、吾妻山をかたどった模型を用いて解説いただきました。



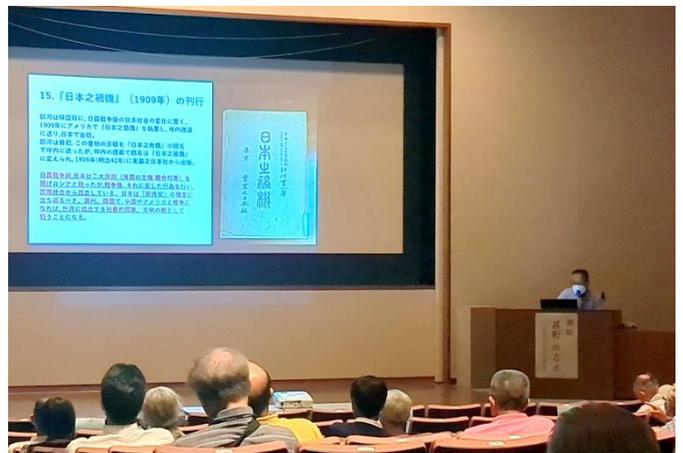
第2回「朝河貫一博士生誕150年記念講演会

朝河貫一と平和の追求—『日本の禍機』から『大統領親書草案』へ—

講師：甚野 尚志 氏（早稲田大学文学学術院 教授）

開催日：令和5年8月5日（土）14:00～15:30 参加人数：80名

朝河貫一博士の生い立ちから「天皇宛大統領親書草案」作成までを振り返りながら、彼の信念となった平和追及の思想についてお話いただきました。朝河貫一博士の生誕150年を記念したオープニングイベントとして、貫一が幼少期を過ごした福島市立子山地区の「立子山奉納太鼓伝承会」による「朝河太鼓演奏」の披露があり、立子山地区の元気な子どもたちの演奏に会場が湧きました。





第 3 回 「公年号と私年号 -ふくしまの庶民間で生まれた「私年号」とは-

講師: 小野 孝太郎 氏(公益財団法人福島県文化振興財団 福島県歴史資料館 主任学芸員)

開催日: 令和5年 10 月 22 日(日)

14:00~15:30 参加人数:20名

江戸時代には、朝廷が定めた「公年号」(元号)とは別に、庶民の間で「私年号」が生まれ、

使用されることがありました。今回はふくしまで使われた私年号などを取り上げながら、私年号について解説していただきました。

※福島県歴史資料館移動展「ふくしまの暦と元号-会津暦と私年号を中心に-」(令和5年 10 月6日~11 月 1 日)の関連事業として開催。

第 4 回 「甲子園への道」

講師: 斎藤 智也 氏(聖光学院高等学校 硬式野球部監督)

開催日: 令和5年 12 月 16 日(土) 14:00~15:30 参加人数:123 名

斎藤監督が辛い時期に出会った本の紹介、自身を動かした「ことば」について、聖光学院のモットー「不動心」の精神にたどりついた背景などのエピソードを中心に、聖光学院野球部を甲子園に導くまでの経験や野球を通しての子どもたちへの指導に関する考え方をお話いただきました。当日は県内中学校、高等学校野球部の生徒の皆さんや聖光学院野球部 OB の皆さんをはじめ、たくさんの方々にご参加いただきました。



(企画管理部 加藤麻依子)